学校番号	3030

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	３年次 （文科・通年）
使用教科書	『詳説　日本史』（山川出版社）						
副教材等	『新詳　日本史』（浜島書店）・『最新　詳述日本史史料集』（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

グローバル化・情報化など複雑化をきわめる現代社会に生きる我々であるが、現代とは過去の歴史の積み重ねの上に成り立っているものである。よって歴史を学ぶことは、現代の日本の諸課題とその展望を探究することである。以下の点に留意して主体的に歴史を学ぶことにより、生きる力を養ってほしい。
・歴史という時間軸と、現代の我々とのつながりを感じる。
・わが国に残された国民共有の財産たる資料・史料に触れ、物事を深く考察する。
・歴史事象に対して「なぜ」の視点を持つ。
・国内外の地理的条件や歴史的条件をふまえつつ、現在の日本およびその歴史のあり方を考える。
・わが国の文化がいかなる特色をもち、いかなる伝統を形成してきたかについて認識を深める。

2　学習の到達目標

・わが国の歴史の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に捉え理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
・わが国の歴史の諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色など歴史的な見方・考え方を働かせ、多面的・多角的に考察し表現することができる。
・よりよい社会の実現を視野に歴史的な課題を主体的に探究する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	わが国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に理解し、諸資料をもとに情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	わが国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを様々な観点に着目して多面的・多角的に考察し、見出だした課題についての構想や結果を効果的に説明したり、それらをもとに議論したりすることができている。	わが国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての自覚を深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	近世の幕開け	・織豊政権 ・桃山文化 [主題学習] 歴史資料と近世の展望 ・生類憐みの令からみる江戸時代の社会の変化	a:村落や都市の支配の変化、諸外国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。また、桃山文化が幅広い国際性を持ちつつ、生活文化の中に溶け込んでいったことを理解している。 b:織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の来航また豊臣政権による朝鮮出兵などが与えた政治的・社会的・文化的影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:時代の転換点であることに着目し、中世から近世の国家・社会・文化の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業への参加
	幕藩体制の成立と展開	・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化	a:アジアの国際情勢の変化にも着目しつつ、諸資料から情報を適切に読み取り、江戸幕府の法制や対外政策、また江戸時代の社会や経済・文化の特徴とその推移について理解している。 b:江戸幕府による諸政策の意義や、江戸時代の人々の生活の具体相、またそれらと文化の関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:幕藩体制の確立・展開過程における様々な画期や、江戸幕府の政策が社会に与えた影響について考察し、主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業への参加

前期期末	幕藩体制の動揺	・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	a:幕府・諸藩の窮乏や列強接近にともなう事件と、それに対する諸改革に関する諸資料から情報を読み取り、諸改革の意義や雄藩の出現過程、同時代に開化した文化の特徴について理解している。 b:商品作物の栽培と貨幣経済の浸透、さらに国際情勢の変化により、幕藩体制が動揺し雄藩が台頭する過程について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業への参加
	近世から近代へ	・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 [主題学習] 歴史資料と近代・現代の展望 ・五箇条の誓文と国是 ・貿易の変遷からみる日本の近代・現代	a:欧米諸国の進出による政治・経済・思想などの変化について、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 b:日本が直面した国内外における諸課題をふまえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響と、近代への学習へのつながりを主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業への参加
	近代国家の成立	・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立	a: 諸資料から情報を読み取り、明治政府による中央集権化への諸政策と士族反乱の終焉、国際関係の変化、文明開化の風潮、自由民権運動の展開や憲法制定・議会開設に至る過程を理解している。 b:諸制度の改革が社会にもたらした変化や、欧米の思想・文化の影響などを、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:明治維新の国づくりや文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題について、主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業への参加

後期中間	近代国家の展開	・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制	a:日清・日露戦争と第一次世界大戦が及ぼした影響に着目し、各戦争後の日本の国際的地位や、国内・国際情勢の変化について理解している。 b:戦争前後の国内外の動向に着目し、戦争が近代国家の国民としての自覚や意識を高める一方国際的な反戦意識や民族運動の高揚ももたらしたことを、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:対外戦争が日本の近代化の中でもった意味と、それによる国内的・国際的変化について考察し、主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業への参加
	近代の産業と生活	・近代産業の発展 ・近代文化の発達 ・市民生活の変容と大衆文化	a:近代産業・文化の発達の背景・影響に着目し、産業革命の展開や国家主義的思想・実証的学問の発展、教育や大衆文化の普及が与えた影響について理解している。 b:地域社会と国民生活の変容と、それに伴う国民意識の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:産業の発展とそれに伴う社会問題や、マスメディアや出版の発達によっておこった大衆社会の課題について、主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業への参加
	恐慌と第二次世界大戦	・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	a:諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、第二次世界大戦の展開について理解している。 b:ワシントン体制下の協調外交が、日本経済の動向によって次第に崩壊し、国内では軍部の政治介入が進み戦争が勃発し拡大していった経緯や理由について、多面的・多角的に考察し、根拠を明確にして表現している。 c:当時の新聞などから世論の動向を読み取り、軍部の政治介入や戦争の拡大にいたった原因を、主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業への参加

後期期末	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	a:占領政策とその転換による日本の政治・経済の変化について、諸資料の読み取りを通して理解している。 b:地域社会の変容にも留意しながら、占領前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を、根拠を明確にして表現している。 c:現代の日本との関係性を踏まえながら、戦後の諸政策が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業への参加
	高度成長の時代	・55 年体制 ・経済復興から高度経済成長へ	a:55 年体制の成立と保守政権の安定、高度経済成長、冷戦とグローバル化の進展の影響などに着目して、20 世紀半ばの外交・政治・経済について、諸資料から情報を読み取り理解している。 b:日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連付けたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:55 年体制の歴史的意義や、高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業への参加
	激動する世界と日本	・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容 [主題学習] 現代日本の課題の探究 ・様々な災害と日本	a:ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱、冷戦終結後の国際関係の変化、55 年体制の崩壊による政治状況の転換について理解している。 b:現代日本の課題の形成に関わる歴史について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:第二次世界大戦後、冷戦終結後の日本の国際社会における役割について、課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業への参加

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度